



# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3

日本共産党京都市会議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '14年 6月 15日号

市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail [cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp)

## お金に色はついていない

### 「消費税は社会保障に」論を斬る

↓ 社会保障費は増税分よりも多いと言うだけの話

「消費税は社会保障に使われている」などとは断言できない!! このことを明らかにした井上議員の議会での質疑の趣旨を紹介します。

●井上議員) 2月の今年度予算議会でも、市長が、消費税増税分の京都市収入分は社会保障に充てると言っておられたが、消費税は目的税なのか。

○市幹部答弁) 目的税ではないが、法律で「社会保障に」と明記されている

●目的税でないなら、その法律自体が総計予算主義に特定収入を特定支出に充ててはならない

○井上議員) 市町村は、法律では、「市町村は、増税分の収入に『相当する額を』社会保障に充てる」と書かれているだけ

で、「消費税分を」とは書かれていない。しかも「充てる」であって、「賄う」ではない。賄うとな

らば、それこそ8%や10%では済まない。○ご指摘の通り、社会保障経費の一部に充てている

●お金に色はついていない。まぎれている。一部に充てているというよりも、相当する額が含まれているというだけの話。前述の法律も、単に宣言しているだけのこと。仮に増税分が社会保障の一部に充てられたとしても、それなら従来社会保障に充てられていたお金

を他に回せば同じこと。○お金に色はついていないので、その点はご指摘の通り。

## 住宅デーの取り組みを訪問・激励

8日、全京都建築労働組合の「住宅デー」の取り組みを訪問。南支部では区内7会場で、網戸の修繕や包丁の砥石研ぎ、住宅無料相談など、市民に開かれた企画で、各会場とも、組合員さんや市民の皆さんたちの参加で賑わっていました。



れた方ですが、市の緊急一時宿泊施設を経て、このほどアパートに落ち着かれました。よかったです。

○交通事故に遭われました。相手方と、どう対応したらいいか、弁護士を紹介、一緒に相談に行きアドバイスをもらいました。

○失業と病気で収入がなく、国民健康保険料が払えなくて保険証がありません。とりあえず井上議員と一緒に区役所へ。保険料の7割減額が実現、短期証ですが保険証ももらい、早速医療機関へ。窓口負担も大変なので、

市民連の診療所で、現在、相談中です。

## 「原発ゼロ」が最大の防災計画

「ポンプ百より用心ひとつ」の標語を引用し、井上議員が、膨大な原発避難計画よりも(とともに)、原発ゼロが最大の計画だと、ゼロを呼びかけた福井地方裁判所の判決を防災・避難計画に取り入れるよう、議会で求めました。

市長は「原発に依存しない社会をめざす」と言

期はいつか」との井上議員の質問には「できるだ

## 最近の相談から

◎入院中だが、退院後仕事を

◎解雇で住宅を追い出さ